

TAKEHARA ROTARY CLUB

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

WEEKLY BULLETIN

竹原ロータリークラブ週報



2010-2011年度 国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

会 長	佐々木秀明	副S A A	森 照明
会長ノミニ	下山 生修	直前会長	中川 康子
副 会 長	荒谷 隆文	管理運営	本庄 純夫
幹 事	尾野 剛章	会員組織	川本 照夫
副 幹 事	大森 寛	奉 仕	市川 重雄
会 計	梶谷 寛康	広 報	久藤 孝仁
S A A	木村 安伸	R財米山	朝比奈勝也

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目6-18樋ノ口屋おおぎビル203号
TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651
Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp

URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/

<例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑
TEL 0846-22-2970 FAX 0846-22-7822

<例会日> 毎週木曜日 12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

今週のプログラム 1月27日

次週のプログラム 2月3日

クラブ決算報告(前期分)

誕生祝・各会員各記念日祝
誕生該当者会員卓話

2011年1月20日 第2274回(自由席)例会記録

- ソング:我等の生業
- ビジター:三原RC 亀井 正様

スマイルボックス

- 会員誕生日…鴨宮
 - 結婚記念日…鴨宮
 - 配偶者誕生…鴨宮
 - 年賀状…吉本、小田、下山
 - 特別スマイル
- ・亀井さんの訪問を歓迎致します。(佐々木秀明)

幹事報告

幹事 尾野 剛章

- ・IMに於けるパネルディスカッションの件
G9ガバナー補佐 村上清司
- ・2011年度新春互例会お礼 竹原青年会議所
- ・羅東扶輪社40周年

会長の時間

会長 佐々木 秀明

皆様こんにちは、今週は一段と冷え込みが厳しく風邪などひかれないうように健康管理には十分気をつけてください。

1月はロータリー理解推進月間になっております。会員についての知識と理解を一層深めてもらい同時にロータリアン以外の一般市民の方々にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間となっております。今年度RI会長レイ・クリンギンスミス氏もRIテーマの中でロータリアン以外にロータリーの目的を

説明することと自分たちの活動を再認識してもらおうとテーマの中で言われております。一般市民の方々にロータリーをよく知ってもらうのはやはり地域社会への奉仕活動などの宣伝です。会員自身が良く理解し納得してその存在を広報していくことであります。会員についての知識と理解では歴史・伝統・文化・習慣あらゆる面で多様性があります。その多様性を認め皆が公平に話し合うのがロータリアンです。ロータリーの魅力は年齢や入会年数に関係なく会員が平等・対等に職業意識を高めていける所を学びあい知的・精神的にさらに成長し出席・参加が楽しみとなり仲間も増えてくることであります。2012-13年度RI会長ノミニーの田中作治さんはロータリーの友の中で「私はいつもロータリーのバッチを着けています。その理由はこのバッチが私のお守りだからであります。これを着けている時は悪いことが出来ません、この一つのバッチが私という個人を守ってくれると信じています。」と書いておられます。私たちもロータリーが100年余も続いてきたロータリーバッチを誇りに思いクラブの充実発展に努めていきましょう。尚2月19日のG9のIMには多数の参加を宜しくお願い致します。これで会長の時間を終わります。

委員会報告

■クラブ管理運営委員会 委員長 本庄純夫
2010年12月4日(土)開催した忘年家族例会会計報告が行われました。

■奉仕プロジェクト委員会 委員長 市川重雄
例会終了後、竹原ロードレース大会ぜんざいサービスについての委員会を行いますので宜しく願い致します。

ロータリー情報委員長 吉岡 一眞
RI2710地区西村栄時PGは(現 地区長期計画委員長)は、昨年12月地区内ロータリアンに対し、次のように呼びかけ、ロータリアンの内面的充実の必要性を強調した。

I. ロータリーの現状

会員にロータリーの魂を！

2710地区の長期計画は、地区の緊急かつ重要課題として「会員の維持・増強」を掲げ、その主要目標を「会員減少に歯止めし、3500名を目指す」としている。会員減少の原因は社会構造に大きく影響していると共に、ロータリーの魅力の減退が減少傾向を大きく加速させている。会員にしっかりロータリー情報を提供し、会員に魂を入れること、真のロータリアンを一人でも多く育てることに力を注ぐことこそ急務としている。

日本のロータリークラブは1949年(昭和24年)国際ロータリーに復帰加盟して以来、その活躍・貢献は目覚ましいものがあり、国際ロータリーにおける地位は不動のものになったが、このところ会員数は年々減少している。

また、2710地区に今年久し振りにRYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)が復活したことは、将来のロータリアンの確保の為にも若い人を育てるという観点からも、地道な努力が大切であり、嬉しいことである。日本のロータリークラブが活力と自信を取り戻すために、会員の獲得に尽力していこうと訴えている。

さて、ご承知のように、ロータリーにはその基本理念として「ロータリーの綱領」「ロータリーのモットー」があり、またロータリアンの生活信条として「四つのテスト」「倫理訓」等の教えがある。

II. ロータリーの基本理念

ロータリーの歴史の中で、奉仕の理想と高い道徳的水準を確立するために、ロータリーを導く基本原則に「綱領」「モットー」がある。

(1) 綱領

ロータリーは、クラブ活動及び会員の諸活動の根本に奉仕の理念を置いている。それが即ち「綱領・モットー」である。

綱領は、ロータリークラブの活動の哲学的及び実際の根本基準であり、組織の目的とクラブ会員の責務を明確に定義している。

(2) モットー

第一標語「超我の奉仕」人類愛に基づいたボランティア活動の理念を唱えた。フランク・コリンズは1911(明治44)年ポートランドで開催された第二回大会で「他人のために尽くす意義と重要性について」説いた。その後1950(昭和25)年、ロータリーのモットーとして採用され、1989(平成元)年に第一標語に指定された。

第二標語は「最もよく奉仕する者最も多く報いられる」で、アーサー・F・シェルドンは、1910(明治43)年シカゴの第一回大会で「すべての人は事業上及び専門職務上で、もっと多くもっと良くサービスするための潜在能力をもっている。サービスの見返りは必ずやあなたにもたらされる」と職業奉仕の根幹を発表し、1989年に第二標語に指定さ

れた。

相手の身になっての言動、即ち「奉仕第一、自己第二」という奉仕の理想は単に職業の成功ばかりでなく、より良い社会をつくるのに大切な信条であるということである。職業の場ばかりでなく、家庭生活においても、社会生活においても、あらゆる生活の場でこの奉仕の理想を持って行動することが、住みよい社会をつくる道であり、これこそがロータリーの責任と名誉であると考え同時にロータリアンはその先導であり、指導者であると心に刻むようになったのである。

III. ロータリアンの生活信条

(1) 四つのテスト

これはロータリーの道徳的指標といわれており、職業人としてのロータリアンの心構えを簡潔に纏めたものである。

(2) 倫理訓

1915(大正4)年サンフランシスコの第6回RC国際連合年次大会で採択され、職業人としての実践道徳の指針とされていたが、内容が厳しすぎる(第6)、表現が宗教的である(第11)等の批判が出て、激論の末手続要覧からはずされ1989年国際ロータリーはこれに替わるものとして、会員が各自の事業職業生活において守るべき規範として「職業宣言」を採択した。

この職業宣言は8項目からなり、ロータリーの綱領・倫理訓等のロータリーの思想の流を確認し、ロータリーの綱領の「ロータリーの目的」について更に具体的にその実践の細目をあげて改めてロータリーの倫理化の推進の目的を明確にしている。

しかし、先述の「倫理訓」はその内容が極めて倫理的、道徳的であることから、ロータリアンとして一度は目を通すべきものとして推奨されているので、あえてここに取り上げ、皆さんも通読していただきたいと思っている。

IV. 特記

近時のロータリーの関心事としてRLI方式による会員研修がある。

RLI方式の研修

1992年アメリカでロータリアンのリーダーシップの涵養を目的として、いわゆるRLI方式による研修が導入された。その後、有効性が認められ、日本では現在34地区のうち東京、青森、埼玉そして2710地区の4地区で実施されている。

指導力の養成には、個人のロータリアンとしての潜在的能力の発掘こそがクラブ活動を成功に導く重要な手段要因と考えられる。毎年度主として新任のクラブ研修リーダーを対象に研修を行い、ロータリー情報推進者を養成することでクラブのレベルアップ、活性化を図っていこうとするものである。

研修の進め方は従来の講義方式でなく、ディスカッション方式で行われる。全員が発言して進めていくのが基本であり、ロータリアンのモチベーション、やる気、積極性を高め、ロータリーへの参加の意識を強めることが目的である。今後の充実と進展が期待される場所である。

出席報告

総員	出席	欠席	マーク	免除	出席率
38名	27名	4名	3名	4名	88.89%